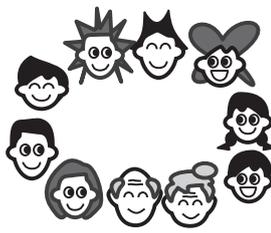


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

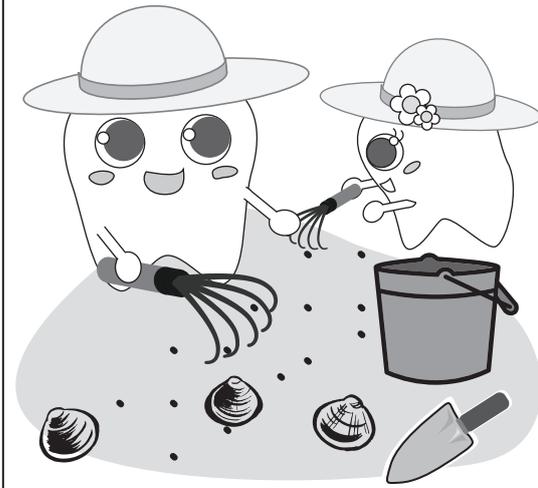
NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和6年4月号
発行人 津谷歯科医院
院長 津谷良
住所 岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話：0120-779-418
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？
津谷歯科医院、院長の津谷良です。

口腔は全身の健康と密接な関係があり、歯周病や口腔感染症は、全身の健康にも悪影響を及ぼすことがすでに明らかとなっています。そのため歯科専門職が要介護高齢者の口腔に介入することは、様々な健康面での効果が期待できます。例えば、しっかり噛めない状態は低栄養や、脳への血流量が減少するため認知機能の低下につながります。また嚥下や口腔衛生に問題があれば肺炎のリスクが高くなります。口腔に起因するリスクを早期に発見できれば、全身疾患の予防につながります。毎日の口腔ケアを効果的に行えるよう、歯科が口腔管理で介入することはとても意義のあることです。今月は、『歯科の間接的な介入による肺炎予防効果』についてお届けします。



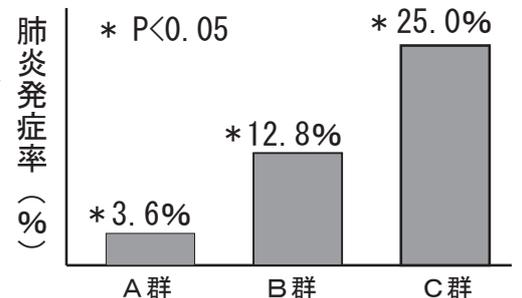
1. 高齢者の病態や疾患は複雑・・・
高齢者の病態や疾患は個人差が大きく、症状が非定型的といった特徴があり、歯科疾患についても同様の傾向があります。特に要介護の方の場合、自ら症状を訴えたり受診することが難しく、早期の発見には介護者の協力が不可欠です。口腔衛生や誤嚥に起因する高齢者の肺炎では、免疫力の低下にともない、咳や発熱、たん、呼吸困難等の症状が乏しく、重症化するまで見過ごしてしまうこともあり、早期から肺炎リスクを把握しておく必要があります。要介護の方に限ると死亡原因の33%が肺炎という報告(平成18年日本大学歯学部調べ)もあり、歯科専門職による継続的な口腔管理が大切です。

2. 歯科専門職による口腔管理がカギ
日本歯科大学の菊谷先生等は、介護保険施設入所者に対して歯科専門職(歯科医師又は歯科衛生士)の評価に基づく口腔衛生管理の調査をしています。調査では、1 歯科専門職による入所者の口腔管理の有無、2 歯科衛生士による専門的口腔ケアの有無、3 歯科衛生士による介護職員への指導・助言の有無

に分けて、肺炎の発症率を調べました。その結果、直接的に介入した群はもちろん、間接的に介入した

介入項目	A群	B群	C群
1. 歯科専門職の介入(口腔管理)	あり	あり	なし
2. 衛生士の口腔ケア	あり	なし	なし
3. 施設職員への指導・助言	あり	あり	なし

群でも介入をしなかった群と比較して、優位に肺炎発症率が低下していました。



要介護者の複雑な口腔状態や、それに起因する全身リスクを歯科専門職が早期に把握し、効果的な口腔ケア方法を計画・立案し、介護職の方へ助言して情報を共有することが、日常の口腔ケアの効果を上げるポイントと言えます。施設入居者だけでなく、在宅療養の高齢者へも歯科の口腔管理が普及することが望まれます。

◆ 在宅療養者の全身の疾患予防や健康状態維持のためにも歯科による口腔管理を！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとても増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」って話をしていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)
診療科目 歯科 小児歯科
休診日 木曜・日曜・祝祭日
院長 津谷良
岡山市中区海吉1807-14
☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413